

## 委員会に期待されるアウトプット

### 1. アウトプットのイメージ

- 中間報告書「日本における地球温暖化の影響・適応（仮称）」（150～170 頁程度）
- 全体要約（15 頁程度）

・中間報告書自体にメッセージ性を持たせるため、全体要約は単に中間報告書の全体要約としてだけでなく、報告書とは切り離して単独でも使えるものとする（max 15 頁程度、良い図があれば使う）。

### 2. 中間報告書「日本における地球温暖化の影響・適応（仮称）」の目的、構成等

#### (1) 目的・狙い（想定する読者）

中間報告書は、地球温暖化影響・適応研究委員会及びワーキンググループ（以下、「WG」）における検討成果をとりまとめ、幅広く周知を図ることを目的とする。

報告書の読者、及び伝えるべき内容として、以下の二者を想定する。なお、報告書の構成もこれに合わせた 2 部構成とする（(2)で後述）。

- 政府・地方自治体の政策担当者（第 1 部）

地球温暖化の影響・適応に関して、今後、政府・地方自治体がとるべき政策の方向性を、研究者からの提言として示す。

- 国民（第 2 部）

地球温暖化の影響・適応に関する現状認識と将来像を分野別に具体的に示し、啓発的・警告的なメッセージを伝える。

上記の目的・狙いと読者層を勘案し、中間報告書は、全体に簡潔で理路整然とした読みやすい内容とする。

## (2) 構成(案)

主に政策担当者を対象に政策の方向性を提示する「第1部」、主に国民を対象に現状認識（各分野の具体的内容）を提示する「第2部」からなる2部構成とする。

### 第1部 [20-30 頁程度]

- はじめに [1 頁] 【環境省、局長名】
- 影響・脆弱性・適応に関する基本的考え方 [10-15 頁] 【委員会の議論を元に事務局作成】
- 全体要約 [16 頁：2 頁×8 分野] 【事務局が作成、各分野の主査が指導】
- 結論 [2 頁] 【局長諮問委員会】

### 第2部 [150 頁程度]

- 第1章 気候システムの現状と将来予測の概要（気候と社会の将来シナリオ） [10 頁] 【事務局】
- 第2章 食料分野
- 第3章 水環境・水資源分野
- 第4章 自然生態系分野
- 第5章 防災・沿岸大都市分野
- 第6章 健康分野
- 第7章 国民生活・都市生活分野
- 第8章 途上国分野

分野別の章の節構成 [全体で 20 頁程度]

【各 WG からの原稿を元に事務局が編集】

- (1) 影響のメカニズム [2 頁]
- (2) 現在把握されている影響 [3 頁]
- (3) 将来予測される影響 [3 頁]
- (4) 脆弱性の評価 [2 頁]
- (5) 適応策 [5 頁] 【各 WG の議論を元に事務局作成】
- (6) 今後の研究課題 [2 頁]

※ただし、ページ数は目安であり、渇水、集中豪雨、台風等の異常気象の頻度、強度等については、基本に関わる重要な事項としてある程度のページ数の追加が必要と思われる。

## (3) 作成上の留意事項

- ・中間報告書の分量は、全体で 150～170 頁程度（第1部が 20～30 頁、第2部が 140～150 頁程度）とする。白黒で判別し難い図版などはカラーとする。
- ・第1部と第2部は合本とし、必要に応じて分けて活用。

## <第1部>

- ・「影響・脆弱性・適応に関する基本的な考え方」は、第1回委員会でその検討の視点を、第2回委員会でドラフトを委員会が検討し、その議論を元に、事務局が作成して委員会が承認する。
- ・「結論」は、分野別の脆弱性の総括、研究課題の総括を含む。分野別の総括は、可能な場合は表形式等にまとめる。

## <第2部>

- ・第1章「気候システムの現状と将来予測の概要」は、本報告書の予測時期として想定する2020-2030年において日本がどのような姿になっているのかを、「気候シナリオ」と「社会シナリオ」の双方から説明する。各分野の将来予測の前提条件・共通シナリオとして、科学的知見に基づき説明するとともに、温暖化対策が進まず低炭素社会が実現しなければ、どのような気候条件でどのような社会になっているかについて、国民の理解・関心を促すため、国民のイメージし易い具体的な想定事例をイラスト等を交えコラム的・叙述的に解説する。
- ・第2～8章の分野別章は、WGメンバーに原稿を執筆いただき、その原稿を元に事務局が編集作業を行う。ただし各章における(6)の適応策は、WG会合の議論を元に事務局が議論の要旨と原稿を作成し、主査のご指導をいただく。また、各章の(1)要約は、(2)～(7)の内容をふまえ、事務局が原稿を作成し、主査のご指導をいただく。
- ・分野別の章にも、いくつかコラム的なもの（具体例の紹介等、わかりやすいもの）を入れる。